〔大正十年四月二十二日第三種郵便物認可〕　昭和五年三月十八日　擊 城 新 聞　〔火曜日〕　郵二千七百八十一號　〔一〕

（十七日夕刊）
休刊 大祭日 第一第三日曜
定價 一部二錢 郵稅 一ケ月六十錢 十五錢
廣告料 登行六十錢 指定十錢 增
發行兼編輯印刷人 磐沼鶴輔
福島縣平町田町十六番地
發行所 磐城新聞社
電話五六四番

所得收益の申告
一割五分の減
人員で約百名ほど減る
平稅務署の調査

平稅務署では三月十日より職業紹介所では百三十八名昭和五年度營業收益稅及び の兒童が就職斡旋方を申出所得稅賦課の申告事務取ひて來た此不景氣に二百名近を開始し十五日を以て締切くのこ供を周旋する爲めに つたが賦課人員は營業・所紹介所では八方奔走した結得兩稅を合して約一千五百果十四日までに申込人員の人で締切日の十五日までに七割八寸名を失れ〳〵適當者をなしたものは八百名に希望に添つた就職口を斡である流石不景氣の折柄だ旋したが殘りの五十餘名もけに賦課稅目立つて減じ所る二十日頃までには全部得稅八萬八千七百圓營業收就職口が決定するやう盡力益稅三萬六千圓で昨年同期してゐるが更子供の就職希に比し一割五分の減である 望先は主として技術的方面人員に於てゝ約百名を減じ で商店の小僧等所謂金にな て居るがそれ等の人々の申 らない年期奉公の希望者は告は例によつて何れも稅務 減少してゐる

署の眼をくらますべく辭柄を設け收入を少く申告し掛員を閉口させてゐるが特に本年度は合法的脫稅行爲も見る可き同族會社の設立續發するを機とし一般關係者が手續きその他の知識に暗いのを奇貨とし餘分の報酬を得て代書の外に代願又は代理告訴等の行爲をなすもの又は不當の料金を收受するもの等も多くなつたので平署では十五日午前十時から管內の代書人三十餘名を同署會議室に集め荒井署長から嚴重な注意訓示をな

惡代書人を征伐
不當な金を取るなど
平署長の訓示

石城地方における代書人は最近の不景氣に伴ひ事件が した、その內容は左の如し

一、代書の外の代願行爲は代書人の業外である

二、事務所以外の場所で執務するときは屆出ること

三、代書料を統一し組合を作るを相當と見る

「標準額訴訟關係一枚八錢以內半枚四錢以內其他は一枚六錢半枚三錢以內圖面簡易なるもの五十錢以內」

漁船の無電
愈々實施
四月一日から

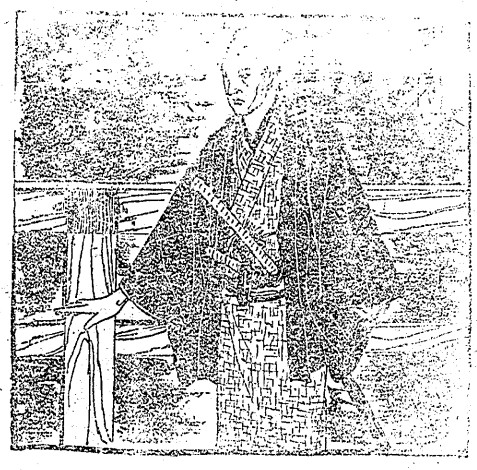
石城郡小名濱町の縣立水產試驗場から出漁中の各漁船に放送すべき無電裝置はいよ〳〵今月中に終了し來る四月一日から實施することゝなつた

代書人組合
設立委員決る

平署では別項の如く管內の代書人三十餘名を集め組合設立を慫慂した結果組合設立することになりこれが準備委員として平町奧山成藏、稻村源治、佐々木要三湯本町柳原宮治、好間村鈴木豐治の五名を擧げ規約その他を作成來る四月中旬の花見の候を期して發會式を擧行する筈

※明日の吉凶※
三月二十九日 新月
四月九日 暦八

▲一白 心區々に岐るゝときは忙しきのみに功薄し▲二黑 坂に車を推すの如く以て撓まずんば幸福報ゆ▲三碧 脫線を愼み事に倦むのごとくば吉日となる▲四綠 汗より生れ泰る效果の初めて現るゝ福德日▲五黃 福分はあれど散慢なる行ひも生じ易き日▲六白 氣は今は恨めしく、一刀のもとに、早、捕吏の命はたゞ



病む兄に送る
佐藤清長

あまりに急激なる變り樣めもられなかつた自分故、そに僕は苦しみます兄よ、悲して、苦悶や苦悶にしてゐらくは兄もそう迄は豫想し 自分に、兄の存在がどれなかつたことゝ思ひます。 程自分を疑惑めさしたかし其命夜丑に開ひた時、そのれなかつた す。そして、突然の事に私、驚いてしませめては兄の萬分の一丈どつたのです。そうです。 もの心 たい、そうな私きゝなはそうと思つた。 べく心掛けたのです。兄併し私の身体一杯に傳はつの存在が私に最一年早く歸た不快な不安にそれすら躊つて呉れたなら、現在の自踏してしまつたです。丑々分は、丑に對しての必苦し別れて家に歸りながら私はい笑顏をつくらずにも濟んだ寂しい心になれずには居だかしれなかつた。併し和られなかつた。 む心を、兄によつて知つた心を、兄よつて知つた事ができました。

たつた一つの物事にさへそのことにさい自分に凝視退いた。

和むい心に儀へた自分は、兄の姿を見る時にのみ一切の妄念を振り落せたのだ。そして何等の苦しみや、悲しさを感じなかつた。私の周圍に狂ひきつた、醜はしい空氣の中には私の持つ反逆心が絕ねず爭つてゐるのつです。私が友と呼ぶ者の一人でも。そして私が尠なくとも、尊敬しやうとする者の一人だ、私の持つかい●●な心が容易へ感じに、後の今日兄が悲しい踪言に頭づへてしまつたのですね古めかしい因習的な俗語に冷たい寢床に親しまねばなせ寂しい心になれずには居られなかつた。

兄よ、丁兄貴方丈です。その兄を惱ましくも、深き憂愁に沈の樣する病魔が思ひ出されてきます。

兄よ、一人淋しく俊寬の樣な氣持は投げ捨てゝ一日も早く全快して下さい。そして私達の前にヒョッコリとその靜かな姿を現はしてくれませんか。そして妙にねじけた天氣豫報でも占なつたりしましよう。眞實に戲れに近い眞理に支配される人間の身体つてゐかしへものですね。ですから兄よ、悲觀しないで下さい、では、これで失禮します。

一、一三日夜記

綴のKさんが兄の家に訪ねて折三人で語り合つた雜談

幕末奇傑高山彦九郎

(89) 中西洋々作

布施長泰齋

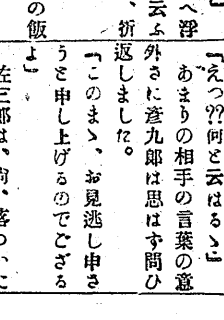
鄕豪の辨（五）

「あツ！しまつた」

斬り捨てゝ了つてから、流石に彦九郎もはつと致しました。大事もつ身にはたとへそれが一捕吏であつたにしても、やみ〳〵人をあやめたことは決してよい結果を導かないに相違なかつたからです。

「おい、しつかりしろつ」

驚いて駈けより、抱き起



岡でござる」

「如何にも!!一別以來の飯よ」

佐三郎は、尙、落ついた態度を保つて云ひつゞけました。

「喃、高山氏」

「辱ない!!」

彦九郎は、たつた一言、かう云ひ捨てるとそのまゝそこを立ち去らうと致しました。と。

「あいや、待たれよ」

佐三郎は、鋭く呼びとめました。

「御貴殿の罪はた見逃し申すことは、決してならぬ。」

「人一人、殺したのですから聞いては下さらぬか」

その言葉の裏には、冷いなる、成程これあ、いくら勤王さまでも見逃せない針が含められてありましたやうに云ひすてました。

「うゝむ。到頭殺して了つた」

思へば、あとにも先にもこれが彦九郎として、人をあやめた、最初の人でした。

「高山樣」

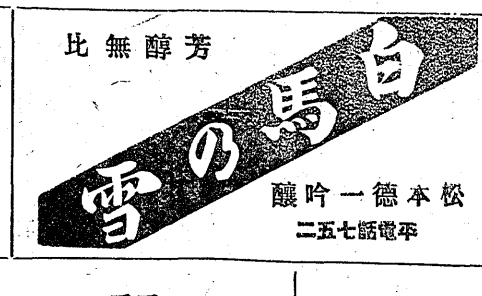
そのとき、薄氣味わるいほどの落着いた聲でかう呼び止めたものがありました。

思はず、抱いた死体を落し乍らきよつとして、見上げて見ると、同心羽織をき如何でござる、このまゝおこんだ、無類の男が立つて見逃し申さうではムらぬか居りました。

「凄いに手並でするなあ」

その片頬に、微笑さへ浮かべ乍ら嘲けるように云ふ外さに彦九郎は思はず問ひ相手は、誰かと見れば、折返しました。から昂る月明に……。

「このまゝ、お見逃し申さ「おゝ、貴殿は」 うと申し上げるのでござる



スッポン飴 一圓 二圓
スッポン酒 二圓
スッポンヘモクロビン錠 三圓
平町五丁目角
山野邊藥局

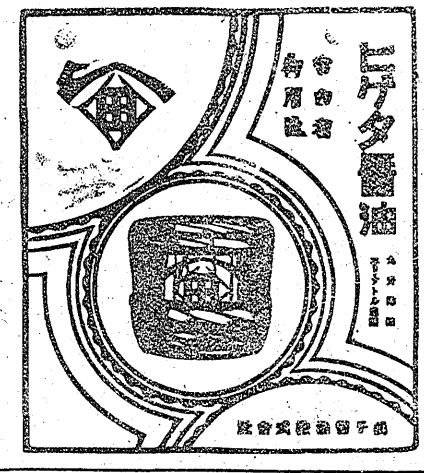
一圓十錢のフランス
マルソー會社元詰
マルソー、ブランク
マルソー、ルージ 生葡萄酒
優良にして安價賣行き飛ぶが如し
平二 西村屋藥舗 たはなし 三番

貸切自動車の御用命は
昭和タクシーへ
高級車で乘心地の好い
昭和タクシー
平 驛前
電話は 三四三番

平町田町
高久病院
電話五一三番
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽清
藥劑士 佐竹菊雄
內科小兒科、
外科花柳病科、
耳鼻咽喉科、
レントゲン科、

內科、小兒科
外科一般、婦人科 市原陸郎
外科、梅毒、淋疾 市原三三男
皮膚病
平町田町本通
市原醫院
（入院隨時） 電話一一四番

開業廣告
今般左記ノ通リ開業致候間此段及謹告候
昭和五年三月一日 敬具
◎專門 內科一般
宅診 時間午前七時より午後十時迄
往診 但し急患はこの限りにあらず
平町南町六五（元大和田耳鼻科跡）
川井內科診療所
電話七二二番
醫學士 川井重之
女醫 川井安子



貸地廣告
平町郡役所より稅務署附近の新開地に五百餘坪の貸地がありますが、然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絕對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極く安値にお貸しいたします
御希望の方は電話なり葉書にて御申込に應じます
小名濱商事株式會社
平出張所
電話 六〇三番 五四一番

清釀造元 世界吉 清水屋
石城小名濱町
鉛酒 小野晋平
各炭鑛御用達
電話六番

內科、小兒科
花柳病科
入院應需
藤沼醫院
平町南町
電話平四五〇七番

廣告

仇敵三名を除名せよと 石城民政部會に要求

誕生の平民政同志會から 成り行き注目さる

石城民政黨の別働隊として生れた平民政同志會の發會式は來る二十一日午後一時より南町倶樂部に開く事となつたが同會では近來民政部會幹部にして黨の内部を攪亂する一部某々等を此の際斷然除名處分にすべきものであると強硬な輿論が一致し來る創立總會で同志會の結成を待ち席上

某々三名の者を除名する爲め石城民政部會に對し臨時總會の開會を要求すること」の

緊急動議を提出し萬場一致を以て可決直ちに部會に對し此の決議を迫りたそくれ三月下旬に總會を開き部會の某々顧問、某幹部三名の除名を斷行する事になつたが石城民政黨の深刻な御家騷動がいよ／＼明るみへ持ち出され傳へられるが如くは森畑元吉、野崎滿藏、志賀亥之松の三氏が若し除名されるとしたら右三氏と其の一黨が今後果して如何に善處せんとするか或る一部の説に依れば右三氏等は既に此のことある可きを豫想し除名などの屈辱的處分を受ける前に寧ろ脱黨の攻勢的態度を採り以て有頂天になつてゐる比佐、若松、荻原吉田諸氏等の鼻を明かさんとしてゐるらしくも傳へられ興味は此の一點に注かれてゐる

元平劇場跡で 魚の取引開始

石城鮮魚商組合が 平魚市場に對抗

石城鮮魚商共濟會から脱會した百六十餘名の小鮮魚商人を以て組織された石城鮮魚商組合が平魚市場との取引を中止し別に取引所を平町字白銀町元平劇場跡に建設することに決定縣當局に對し目下これが

許可運動中である事は既報の通りで鮮魚商組合では縣當局で許可を待つの餘裕を有せずとして假然十六日午前地鎮祭を執行急轉直下今十七日建築を終へ遲くも來る二十二日ころから取引を開始することになつたに對し平魚市場側ではあくまで許可される筈はないと主張し鮮魚商組合では屆出をなせば許可を受けずとも取引を開始し得るとの見解を以て進み讓らず奔走をなしつゝあり市場側組合間には

漸く殺氣を孕み何時如何なる事態を惹起せずとも限らず所轄平署では警戒を怠らないが鮮魚商組合側鈴木又六氏は語る

われ／＼が開設するのは市場ではなく組合員の取引所で本屋のやうもので取引高はこの借地代一ケ月三十四圓と建物費等を各自が負擔するに過ぎない今日迄石城鮮魚共濟會は平魚市場に對し一ケ年約二十數萬圓の取引をなしこれが手數料として一割に當る二萬數千圓を支拂つてゐたわが取引所が實現すればこの手數料が掛らぬだけでも安い値段で客に賣ることが出來る譯でわれ／＼は薄利多賣をモットーとする上から許可などは直ぐ出來ると思ふ

磐高女 卒業生

十八日卒業式

平町磐城高等女學校第十八回卒業式は明十八日午前十時から同校に擧行されるが優等生並に卒業生左の如し

（優等）箱崎德、山本德、飯野清子、桐谷まさ、卜澤まさ、

（卒業生）會川たつ、會田道子、赤津つね、麻生川幸子、安島毅子、阿部さく、阿部千惠、嵐たきせ、有賀きく、安齋陸子、安藤滿、飯田ふみ、猪狩千萬子、生田くにゑ、石井幸子、石坂聰子、石山うめ、鵜澤きくゐ、上澤まさ、江尻ふみ、江尻みつえ、遠藤きくえ、遠藤正子、大井川あき、大竹とよ子、大谷きよ子、大野みよ、大平みつい、岡部あや、荻野幸子、長瀬子、小田うた子、小野きみゑ、小野瀬英子、風間たみコ、風間つね、勝鳳仁子、數馬つや、加藤きゑ、金澤やゑ、金本榮子、川又はつ、木村しつ、木村まさ、桐谷まさ、草野雄子、草野すゑ、草野すみ、草野武子、草野千枝子、鯨岡まさ子、久保木ちよ、栗原きくゑ、來島しげ、小泉とみ、小堺せつ、小沼しまつ、小原文子、小松わか子、齋藤しん、齋藤敏子、齋藤富美子、齋藤芳子、酒井ちい、酒井富美子、坂本喜久子、坂本とき、坂本よし、佐川はつの、鶯きく、佐々木みどり、佐藤やい、佐藤よて、澤島子、澤田はい、志賀喜久、志賀輝子、宍戸正子、下山田英子、白土いち、陳野はる、鈴木愛子、鈴木あや、鈴木梅子、鈴木さだ、鈴木靜枝、鈴木千鶴子、鈴木てい、鈴木てふ、鈴木富世、鈴木美津、鈴木よし子、諏訪よしゑ、關内あきコ、先崎愛子、大勝わか、大樂きみゑ、高岡安子、高木絢コ、高木勝枝、高木よしの、高木まさ、高木やす、高島けい、高野しな、高橋うめ、高橋たい、高村篤子、武田富美子、竹田芳子、田子菊枝、田子ふじ、只野みわ、立枝ふみ、館野清子、谷平濱子、丹英子、丹呉睦子、千葉きよ子、東條ひさ子、富岡ときよ、豐田喜美枝、豐田美代子、直井きみ、長瀬知惠子、中野とし子、中野幸子、中村盛子、中村俊子、永山ふさコ、沼田久子、根本公コ、野木つね子、野木たき、野木敬子、羽賀あさ、芳賀せつ、芳賀そめ、箱崎德、橋本ゐいこ、長谷川きくゑ、林靜枝、比佐露子、檜山愛子、平野井はつ、平山はるよ、蛭田ゆき、福塲富美子、藤村子登、古川きぬ、古川とよコ、細谷正子、堀越いろ、益弘花子、松本喜美子、松本きみ子、松本千代、水本はな子、馬目種子、水下一美、水竹しげ、宮川三和子、村上たけ、村上はなを、村上ふく、馬上あい、森永子、門間せき、柳内兀コ、山部有コ、山本きみ、山本德、横内靖、横倉章コ、横山貞、吉田さつこ、若松せき、若松とき、渡邊たつ、渡邊チヨコ、邊渡綱コ、渡邊とめよ、渡邊初代、渡邊はな、渡邊瑞コ、渡邊まさ、渡邊みす、渡邊ゆき

（五十音順）

藝妓に迷ひ

夢さめて自殺

石城郡内郷村古物商渡邊左衛門（五二）は自宅内に於て何藥かを嚥下し自殺を企てたが果さず今度は縊死を企て苦悶してゐるのを發見應急の手當を施したが生命危篤同人は數年前藝妓に迷ひ込み五千餘圓の金をつかひ果し借金のために家出し最近漸く迷ひの夢がさめて歸宅したもの丶世間体を恥ぢて自殺を企てたものである

白銀町の區民が 荒井署長に迫る

鮮魚取引所問題で 一と騷動持ち上る

石城鮮魚商組合では前項の如く平魚塲に最後の巨彈を投じいよ／＼今十七日より白銀町元平劇場跡に鮮魚取引所の名のもとに鮮魚の取引賣買を開始したが白銀町區長草野清治、衛生區長綠川三郎、北條火防組長、高木靑年分團長の諸氏は火防衛生方面から不完全な設備建物等により萬一のことありてはならぬと昨十六日午後五時より協議會を開き對策を打ち合せた結果火防衛生の兩方面より警察當局に抗議を持ち込むこととなり今十八午後一時荒井署長を訪問し「取引所なぞを置かれて困るから許さないで呉れろ」と談じ込むところあつたが次第によつては知事に迫る覺悟であるとまで意氣込むであるから色々事に輪がかかつて一ト騷動は免れまいと

四倉管内の 無火災村

近く表彰式

四倉署管内二町三箇村に於ける昭和四年度中の火災は大野村二箇所、久之濱町一箇所の三箇所あるのみにて四倉町大浦村、大久村の各村は無火災で之れは各の火の用心につきての注意と消防隊の嚴重な取締によつたもので此等無火災各町村に對して四倉署では近く表彰式を行ふ由

松ケ岡の櫻

めつきり急ぐ

平町の松ケ岡公園は本縣屈指の花の名所であり櫻花の候は各地方から觀櫻團体が押寄せ毎年非常な賑ひを見せるので、平町當局では此の花の名所を廣く紹介し地方觀客を吸引する一策として昨年は各所案内を各方部に發送した程であり、團体觀櫻客は特別優遇の方法を講じつゝあつたが今年も例年通り公園内には賣店を設けさせるため二十五日飲食店、食料品店の希望者を募り抽籤によつて賣店の地域を定める事になつた、裏山に積もつた雪の影も消えて石城郡地方は一雨ごとに春らしさを加へて來たが、日每に櫻の蕾もふくらみ出し昨今は花見の準備を急いでゐる。

新田町の春 不況は續く

松ケ岡の櫻もめつきりふくらんで來たと云ふのにドン詰りの不景氣に祟られて喘ぎ通して最も影響の甚だしいのは何と言つても花柳界方面であらう、紅燈ゆらいで一時繁華其のもの丶綾な色街だつた新田町色街では書き入れどきの正月は不況續き次は逃散騷ぎと、只でさへ不景氣のところをすつかり掻き廻されてまるで火の消えたやうな有樣で一ケ月の玉代が平均四十本まで行かぬとは全くこの藝妓連中の吐息がうかゞはれるで税金はおろか髮結錢もなく今日このごろコソツと質屋ののれんをくゞつてゐる者も尠くないといふ悲慘の有樣で全く氣の毒の極頂に達してゐる。

カフエー 女給萬能

絃歌の音も震へ勝に平新田町の藝妓連中がかゝる悲慘なる不況に喘でゐると一方これはまたなんと皮肉な事か時代の尖鋭を歩むカフエーの女給達はこの悲慘を逆に行つて現在では市内に十二軒のカフエー出揃つて其處には女給二十三名が華やかに唄ひたはむれてゐるが製糸その他の工場から追はれた農村女性が遂にはこの華やかな女給となつて今では赤い灯ともる頃昔聞いた絲繰車の音の憶出もかすかといふのも可なりあり此の華かな職に無智な憧がれを以て飛び込む若い娘も多くそれに付き物の誘惑の魔の手も延びてゐるから子を持つ親は注意を要すべきである

平の撞球仕合

平町マルト撞球場主催撞球カップ爭奪戰は二十三日午後一時から同ビリヤードに於て開催するが參加選手五十名に達する見込で盛會を豫想されてゐる

平町の かるた大會

入賞者の氏名

平町磐城時報社並に有明會主催の第一回縣下カルタ大會は既報の如く十六日午後一時から平町藤田女學校樓上に於いて開催水戸市白菊會、さすらひ會等からを始め縣下斯界の猛者四十餘名參會し大激戰を演じた結果一等高野兄（平やよひ）二等染野（水戸白菊）三等關谷（平有明）四等木村（磐炭）五等田村（平やよひ）六等根本（磐間昭和）七等岡田（平有明）八等平澤（平有明）九等高橋（水戸さすらひ）

四倉米穀商

きのう總會を開く

四倉町米穀商定期總會は十六日午後三時より同町鈴木屋旅館に於て開催した

家庭節約講演

石城郡入遠野小學校に於て去る十三日正午より婦女子の爲めに家庭節約に關する講演會を開き縣社會課長水谷平吾氏及び主事補吉田鶴次郎氏の有益なる講演があつた

鮫川疏水視察

本郡中の兩技師

石城郡下各町村農作物災害調査の爲め來郡中であつた内務省佐藤長島兩技師は小名濱町外一町四ケ村鮫川疏水組合關係者の請ひを容れ十六日同江筋一帶を視察して引上げた

五千人に達する 石城の失職者

給料生活者が最高 平紹介所で發表

平職業紹介所が三月五日現在で調査した石城地方の失業者を見ると實に四千七百九十三名の多きを數へてゐるが石城地方にかくも多くの失業者を見たことは何といつても炭礦方面の事業縮少からで現に失業者中三分の一の千三百六十六（男女合計）名は俸給生活者の失業である假りに失業別を示せば左の如し

▲給料生活者男一、三二七名女三九名▲日雇業者男一、二九七名女九五名▲その他の勞働者男一、三八九名女六四六名

平町理髮業

けふ協議會

石城理髮業組合第一部（平方部）部會總會は今十七日午前十時より平署に開き料金値下げ並に講習會の件その他につき協議した。

殺人事件の公判

あす平支部で

植田町下山田寅市（五三）が長男勝枝（三一）が酒の上亂暴を働き手が付けられないので次男武（二九）と共謀の上で慘殺した例の森田長男殺し事件は其の後平支部の手で審理中であつたが愈々明十八日午前十時平支部公判廷に於いて中島裁判長係り武田檢事立會の上第一回公判を開廷する事と決定した

洞穴内に 死体

八卦爺の凍死

石城郡高久村下高久洞穴内に十六日午後一時頃八十才前後の老人の死体あるを通行人が發見し平署に屆出た署員が出張檢視の結果右は八卦をたく浮浪人で老体の爲め死亡したもと判明死体を村役塲に引渡した

紅燈街

新田町三島家からけふ御披露目した妓は「さい子」と申し侍りますさい／＼おひいきを願ひますとのこと

小學生五人で 窃盜團を組織

大膽極まる犯行に 平署員舌を卷く

石城郡内郷村高坂小學校尋常科六年生長南政吉（一六假名）は同校高等科一年生安孫子正（一五假名）同六年生安藤幸造（一三假名）同鈴木喜男（一三假名）荻島清（九假名）の四名を督勵し不良少年團を組織し團長長南の指揮に依り夜伴れ乘じ見張番其他の役割を命じて去二月上旬以來三月十五日迄に同村高坂磐城炭礦各商店に浸入し十數件に亘り時計、萬年筆其の他を竊取しては同村遠藤質店に入質し其の金は五人で分配消費して居た事十六日平署員に發覺されたが取調べの結果右五名は同坑の坑夫の子弟で全部私生兒であり金のやり方の巧妙なるに署員も舌を卷いてゐる

東京教員 專修學校

大谷氏の經營

東京教員專修學校は昭和二年の創立にして教育界に志す有爲の青年を入學せしめ短日月にして師範學校卒業同等の學力を授けるのが目的である、校長大谷良意氏は石城郡大野村大字玉山出身にして磐中卒業後平第一小學校に教鞭を取つてゐたが上京し中央大學法科に學び後國民教育の重大なるを感じ遂ひに大事業たる東京教員專習學校を神田市駿河臺に創業し自ら生徒の募集や内部の充實等に努力の結果實蹟漸くあがり既に三回の卒業生を社會に送り現在生徒五百有餘人を有し益々隆昌に向へつゝあり石城地方出身者に對し特に多大の便宜を與へつゝあり好評を博してゐる

平町南町
上田醫院
電話一二九番

お知らせ
今般左記に轉宅いたしました
研町八番地（白荻支店裏）（電話四四三番）
三浦幸哉

愈々御待兼の
◎革新大歌舞伎◎
市川玉之助大一座
當る三月十七日より午後五時花火合圖開塲
聚樂館
電話四七〇番

生徒募集
一、本科生　一百人
一、普通科　第一學年　百五十人
一、普通科　第二學年　若干人
一、願書提出期限　四月六日
右募集す
磐城佑賢學舍
電話七一〇番

第三十一回 生徒募集
△募集人員　八十名
△修業年限　兩科を通じて一ケ年
△入學資格　（高等小學校卒業若しくは之と同等の學力あるもの）（無試驗入學を許す）
△願書提出期間は四月八日迄
△寄宿は自炊の便あり
平町一丁目
石城産科看護婦學校
校長　鷹崎千代
電話一三七五番

御裁縫用具と
手藝材料は
ハシモトヤへ
コンナニ安イノカト驚ク程ノ御値段デ良イ品ガ澤山揃ヘマシタ
各女學校御用達
ハシモトヤ糸店
平町田町

平町紺屋町
吉田眼科醫院